

intertek news

Vol.88

ISO関連季刊情報誌(年4回発行)

CONTENTS

01 マネジメントシステムの新たな成熟の芽

02 特集

03 ISO 9001の要求事項を事業承継に活かす

04 News&Topics

- ▶ 金城電気工事様、弊社審査員、令和6年度安全衛生表彰受賞
- ▶ オンデマンド研修開始
- ▶ Q&A

05 審査の現場から

- ▶ お客様紹介
(ニデック株式会社 中央開発技術研究所)

06 連載よみもの

- ▶ 審査員リレーエッセイ
「ウォーキング:散歩」
(審査員 大庭 篤)
- ▶ 環境とISO 14001
「COP29の成果と日本のエネルギー政策」

07 お客様からのお便り

- ▶ 「環境放射能・放射線の信頼される分析専門機関として」
(公益財団法人日本分析センター)
- ▶ 「岐阜県魚『あゆ』加工品を日本初のオーストラリア輸出」
(株式会社鶴舞屋)

08 研修コースのご案内

- ▶ ちょっといっぶく
- ▶ 研修コース案内
- ▶ 受講生からのお便り
(中外テクノス株式会社)

インターテック・サーティフィケーション株式会社

発行 大阪事務所

◆バックナンバーは、弊社ホームページにてご覧いただけます。

<https://ba.intertek-jpn.com/>



マネジメントシステムの 新たな成熟の芽

ISO認証部 こにし のぶひろ
小西 展洋

本号が皆様のお手元に届く頃、日本列島は桜前線の北上とともに、お花見シーズンを迎えます。春は新しい仲間の入社や異動の時期とも重なり、業務の引継ぎや組織体制の変更も多いことと思います。変化点を経て、樹木が一年また一年と年輪を重ねていくように、皆様の事業の成長、仕組みの更なる成熟を願う季節でもあります。



ISO 9001規格*から「管理責任者」という言葉が削除され、その任命が組織の任意となってからまもなく10年が経ちます。今でも審査で伺いする組織の多くには管理責任者がいらっしゃいますし、2015年版で新たに認証取得するお客様でもお目にかかります。担う役処は組織によって多少違いがありますが、管理責任者はマネジメントシステム運用にとって欠くことのできない存在なのかもしれません。偶然かもしれませんが、小職が昨年担当させていただいた約80社のお客様の半数近くでこの管理責任者の交代、あるいは後任への引継ぎが進行中となっていました。理由は各社様々でしたが、長年貢献された管理責任者のご勇退だけでなく、経営層・管理職の世代交代・刷新や女性の積極登用等があり、マネジメントシステム運用に「新しい風」が吹いたように感じた一年であったと記憶しています。

この新しい管理責任者の皆さんはこれまでのマネジメントシステムの運用実績を上手に引継ぎながら、概ね共通して仕事の仕組みのDX(Digital Transformation)を推進されていたように思います。彼ら、彼女らの優れた取組みを間近で拝見することで、審査員としても多くのことを学ばせていただいた、そんな一年でもありました。

事業環境が大きく変化していく中、トップマネジメントの下、「組織の事業プロセスへのマネジメントシステム要求事項の統合を確実に」しながら、「完全に整っている状態(integrity)」を考慮して運用していくのは、実はとても大変な仕事です。しかし、同時に他では経験できない、非常に遣り甲斐の大きな仕事でもあります。

審査を通じてその醍醐味を少しでもお伝えできるよう、また皆様のマネジメントシステムの「新たな成熟の芽」を伸ばしていけるよう、「良き伴走者」のような審査員でありたいと願っています。

桜の季節に寄せて、皆様の一層の飛躍を祈念いたします。

* ISO 14001も同様に、2015年版では「管理責任者」の用語がなくなり、設置は任意となっています。